

I LOVE

2024年1月19日(金)ー3月20日(水・祝)

午前10時~19時(最終入館18時30分)

会期中無休 ※臨時休館する場合があります

主催: 細辻伊兵衛美術館 / 後援: 京都市・(公社)京都市観光協会・京都新聞

協力: 京都府公衆浴場業生活衛生同業組合・(一社)湯道文化振興会・檜創建(株)・九条湯

“Bathing” — It is a daily activity for the Japanese. The long history of bathing is evidenced by the fact that hot springs were already used for medical treatment in the Nara period (710-794). After that, hot bathing spread from temples to the public in the form of soaking in hot water or steam baths, and sentō (public baths) became very popular in the Edo period (1603-1868). Tenugui were made from cotton which is highly absorbent and dries quickly, and were used as towels to wipe bodies after bathing, sometimes called ‘yude’ (hands for hot water) and essentials as bathing tools. In Japan, Kyoto is one of the cities that still has a bathing culture with many public baths. The exhibition introduces nostalgic tenugui with motifs reminiscent of bathing and depictions of Showa-period life which cannot be seen today. It also exhibits works related to “Yudo” (The way of bathing) stated by Kundo Koyama, and items related to public baths.

てぬぐいアーカイブ
細辻伊兵衛美術館

湯道



湯~わくノスタルジー

I LOVE 湯道

湯～わくノスタルジー

2024年1月19日(金)～3月20日(水・祝)
午前10時～19時(最終入館18時30分)

日本人の日常的な行動である「入浴」。その歴史は古く、温泉は奈良時代にはすでに病氣治癒の湯治として利用され、その後も湯に浸かる、もしくは蒸し風呂の形式で、温浴は寺院から庶民に広まり、江戸時代には銭湯が大流行しました。そこで重宝されたのが、木綿の手ぬぐいです。吸水性に優れ、速乾性もある木綿は、入浴後に濡れた体を拭くのに最適で、「湯手(ゆで)」と呼ばれるほど、湯道具として欠かせない必需品でした。

京都是全国的にも銭湯数が多く、入浴文化が残っている都市の一つです。本展では、入浴に関するモチーフや、今では見られない昭和の暮らしを描いたノスタルジックな手ぬぐいをご紹介しますとともに、小山薫堂氏が提唱する「湯道」関連道具、銭湯に関わる品々を展示いたします。



昭和11年(1936)



昭和12年(1937)



昭和8年(1933)



昭和13年(1938)



小山 薫堂

放送作家・脚本家。1964年熊本県生まれ。「料理の鉄人」など斬新なテレビ番組を数多く企画。映画「おくりびと」で第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語部門賞を獲得。執筆活動の他、京都芸術大学副学長、下鴨茶寮主人、2025年大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーなどを務める。2015年より、初代家元として「湯道」を提唱。『湯道百選』を雑誌Penで連載中。2020年「一般社団法人 湯道文化振興会」を創設。2023年には、企画・脚本を務めた映画「湯道」が公開された。

湯道とは

現代に生きる日本人が日常の習慣として疑わない「入浴」という行為。しかし冷静に考えるならば、飲める水を沸かして湯にし、それに人が浸かる…

これほど贅沢で感謝すべき行為はありません。

しかも日本には、全国各地に温泉という素晴らしい入浴施設が多数存在します。まさに日本人にとっての入浴という行為は、世界でも類稀なる生活文化であり、その精神と様式を突き詰めてゆくことで一つの「道」になるという想いに至りました。

私たちはそれを「湯道」と名付け、「感謝の念を抱く」「慮る心を培う」「自己を磨く」という三つの精神を核としながら、日本の入浴文化を世界に発信します。そして、様々な伝統工芸を「道具」として使用することで、職人たちの技や伝統を保護継承します。

湯道初代家元 小山 薫堂



湯道instagram

トークイベント



お申込はこちらのQRコードから

小山薫堂 × 細辻伊兵衛 (細辻伊兵衛美術館館長)

2024年1月20日(土) 16時～17時 料金無料(別途、入館料が必要です) 定員30名 / 先着・事前申込制



開館時間：午前10時～午後7時
(入館は午後6時30分まで)

休館日：会期中無休
※臨時休館する場合があります。

入館料：一般 1000円 手ぬぐいチケット付
中高大 900円 手ぬぐいチケット付
小学生 300円 手ぬぐいチケット無

京都市営地下鉄「烏丸御池」駅 4-1出口から徒歩3分。
駐車場はございません。
当館へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

細辻伊兵衛美術館

〒604-8174 京都市中京区室町通
三条上ル役行者町368

TEL: 075-256-0077

https://hosotsuji-ih-ee-museum.com/

Instagram hosotsujiihee_museum

X(旧Twitter) https://twitter.com/h_ih-ee_museum
(@h_ih-ee_museum)

